

1. 評価結果概要表

平成 21年 2月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	2070201385		
法人名	社会福祉法人 陽気会		
事業所名	グループホーム 稲穂		
所在地	長野県松本市梓川梓2578-3 (電話) 0263-78-2945		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年2月20日	評価確定日	平成21年4月22日

【情報提供票より】( 21年 1月 16日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤4人	非常勤6人 常勤換算7.3人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,000 円	その他の経費(月額)	1日500 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 250000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要 ( 1月 16日 現在)

利用者人数	8 名	男性	1 名	女性	7 名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	1名	要介護4	3名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 86.3 歳	最低	80 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・梓川診療所	・松本協立病院	・波田総合病院	・昭和歯科医院
---------	--------	---------	---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成17年に旧梓川村から松本市に合併し、地区には長野県の天然記念物に指定された、樹齢600年と言われる幹周りが6メートル高さ43メートルの巨大なモミの木がある大宮熟田神社が近くにあり、梓川河川敷は地区有志と中学生でカワニナを放流しホタルが舞う場所を目指すなど、ホームの周りは豊かな自然が沢山ある静かな場所で、同法人のケアハウスに隣接して、開設されたホームである。  
ケアハウスと行事など連携を取りながら、また、24時間体制で診療所の医師の支援により、開設4年間に4名の看取りを経験されるなど、大変心強いホームであることがうかがえた。入居にも1週間の体験利用できることから、利用者と家族は体験してから利用を選択出来ることありがたいホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回は職員全員で自己評価を行った。グループホーム同士の交流会にも参加し、情報交換をしている。ケアマネ同士の交流も2ヶ月に1回開かれ、交流を図っている。ターミナルケアについて、前回調査では看取りは1名であったが、その後看取りのマニュアルも作成され、今回の調査まで1年間に3名の方を看取られた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価を行い、ミーティングで全員の意見を基にとりまとめが行われた。全員で行ったことにより、個々の気づきに役立てられたことは、今後更なるサービスの質の向上が期待される。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は定期的にかかれており、地区との連携のためにも新年度からホームも地区の一員として自治会にも加入することになり、今後は更に情報交換をされ、交流が行われることと思われる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>玄関には意見箱が用意されているが、今まで入っていたことがない。面会簿からも面会が頻繁であるため、その都度職員と情報交換されている。ここ1年の間に3名の方の看取りをされたことは、医師・職員・家族の連携がとれており、家族の不安にも職員が良きアドバイザーとなっていることがうかがえる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地区の行事や保育園の行事に参加したり、隣接のケアハウスとの花火大会に地区の方をお呼びしたり、交流は行っているが、身体的にも機能低下している方や、認知症の利用者であるグループホームということから、非常災害時や徘徊者が出た時などには、地区の消防団・住民の方からも協力が得られるよう働きかけをし、連携が取れることが望ましい。</p>

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念と共に「私たちの目指すもの」と題して、地域とのつながりを大切にし、その人らしく最期まで快適に過ごせるサポートを行う内容を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理事長から直接職員全員に、理念・方針についての対話の機会が設けられた。また、月1回開く職員全員でのミーティングで「目指す」ケアについて確認をしたり、時には個々に配布されているマニュアルの確認もされ、日々実践に向け取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の文化祭、保育園のお月見会、小学校の運動会などに参加したり、ホームの花火大会に地区の方をお招きするなど、地域との交流に努めている。4月からはホームとして地区に加入し、更に交流を深める準備が行われている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が自己評価を行うことにより、一人ひとりが改善点の気付きと共に評価の意義を理解し、サービスの質の向上に取り組んでいる。外部評価の結果については、全体会議で検討をし、日々のケアに活かしている。		

グループホーム稲穂

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地区の民生委員、市の担当者、家族、管理者、計画作成担当者に介護職員も加わるようになり、2ヶ月に1回定期的に開かれている。ホームの説明、日々の様子など報告し、新年度から地区の自治会にも加入し、地域の一員として交流を更に深める運びとなっている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月1回開かれている市の高齢者連絡会に参加し、情報交換に努めている。新年度からは2ヶ月に1回の予定になっているが、今後も参加し、情報を得ながらサービスの向上に取り組んでいく。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>行事や日々の写真などが入った「いなほだより」を年4回発行し、暮らしぶりをお知らせしている。面会も頻繁にあるため、面会時に話しやすい雰囲気作りに心掛け、家族に声掛けをし、直接日頃の様子や金銭管理の報告をしている。面会の遠のいている方には電話で知らせるなどもしている。</p>		<p>毎月の請求書の郵送時に、日々の様子を担当職員からコメントを添えるなど、より一層家族との情報の共有されることが望ましい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関にさりげなく、意見箱が用意されているが、面会簿の記録からも面会が頻繁であり、意見箱より直接家族と職員との情報交換が常に行われていることがうかがえた。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が退職などにより交代した時は、利用者が不安にならないよう採用後2週間は新任と現任での増員勤務体制をとり、利用者との馴染みの関係づくりに努めている。</p>		

グループホーム稲穂

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の希望を聞きながら、レベルアップのためにも出来る限り外部研修へ参加するように配慮している。参加しやすいよう出勤扱いで段階に応じた研修の確保に努めている。介護リーダーによる内部研修も時折行っている。近隣のグループホームと合同で県の介護センターによる出前講座を、職員全員参加の下で行った。		
11	20	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム会及び高齢者連絡会に参加し情報交換に努めている。近隣のケアマネの交流会も2ヶ月に1回定期的に行われるようになり、グループホーム同士の交流も計画されるなど、相互の質の向上に積極的に取り組んでいることがうかがえた。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に希望者宅を訪問し、利用者と家族に面接後ホームを見学していただき、利用者が納得した上で、申し込み後1週間体験利用をされ、契約を交わすようにしている。今まで時間単位で帰られた方もいるが、1週間の体験利用を待たずに2～3日で契約をされ、利用されている方も多いようである。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者から、色々な料理の作り方のコツなど教えて頂き、ホームに留まらず自宅でも大変役に立っている。また、落ち込んだりしていると利用者から慰められたり、本当に先輩としての豊かな経験から様々な面で、共に支え合って生活していることがうかがえた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりに職員が希望を聞く機会を設け、希望に添えるよう努めている。温泉外出・墓参り等家族の協力が必要な場合には、面会時に家族と相談しながら支援している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者・家族の希望を聞き、介護リーダーが中心となり、職員全員で月1回午前10時から11時までのミーティングで介護計画を含め、日々のケアについて検討して管理者に報告している。出来る限りカンファレンスにも利用者に参加して貰うようにしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は利用者及び利用者に面会に見えた時家族に声掛けをし、また見直しの期間にお会い出来ない家族には、電話連絡をするなどし、意見を聞きながら3ヶ月に1回見直しを行っている。また、月2回の往診時に医師と相談の上、状態変化に応じて随時見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>隣接にある同法人のケアハウスからの利用者も多く、ケアハウスの行事に参加したりホームの行事にお誘いしたり、ケアハウスの職員でもある職員が、ホームにレクリエーションの係として月に何回も訪問し、利用者や歌を唄ったり、楽器の演奏をするなど交流をしている。</p>		

グループホーム稲穂

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医でもある診療所の医師による訪問診療を月2回受けている。また、診療所の看護師と医師には、状態の変化に応じて24時間体制で対応して頂けるよう体制づくりがされている。医療機関への受診などは職員が付き添いをするなどの支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用契約時には、本人・家族から重度化した場合の希望は聞いているが、状態の変化により気持ちの変化もあると思われることから、その都度家族には確認をし、同意を得ながら情報の共有に努め希望に添えるよう支援をしている。開設4年間で、4名をホームで看取られた。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者のお部屋の入り口には、思い思いの暖簾が掛けられ表札も統一するのではなく、利用者・家族の希望に応じて目印や名前などプライバシーに配慮した対応がうかがえた。居室への職員の入室も介助するから当たり前のように入るのではなく、必ずノックし声掛けしてから入るようにしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>お天気や体調に配慮しながら、昔からの趣味など個々にやりたいことなど希望を聞きながら、出来る限り添えられるよう支援している。</p>		

グループホーム稲穂

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	リビングにはテーブルが2つ用意されており、食事のペース毎に楽しんで食事が出来るよう配慮されている。ケアハウスのメニューを参考にしているが、週2回チラシを見て利用者の希望のメニューを取り入れ、買い物に出かけている。準備や片づけは力量に応じて出来る範囲で、職員と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週2回の入浴であるが、体調や希望によりその都度検討し対応している。一人の入浴や、気のあった人同士での入浴、同性介助など希望を聞きながら、その都度対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用開始時は家族などから得た生活歴などの情報を基に経験を活かし、習字が上手な方に職員も教えて頂いたり、庭で野菜の収穫を楽しんだり、タオルで雑巾を縫って頂くなど、個々の力量を発揮し楽しんで出番があるよう支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月に1回希望を聞きながら外出も兼ね、外食に行くなど雰囲気が変わった所でも食事が楽しめるよう心掛けている。また、田園に囲まれたホームであるためお天気の良い日には、体調に配慮しながらお散歩も日課としている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は午後7時から朝5時までは施錠しているが、日中は自由に出入り出来るように鍵はかけていない。また、外泊された時などは、連絡をいただければ施錠時間に関わらずいつでも対応できるようにしている。		

グループホーム稲穂

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回消防署等の協力により避難訓練を行っているが、ホームのみに留まっており地域からの協力はまだ得られていない。4月からの新年度に働きかける予定である。</p>		<p>定期的に関いている地域との運営推進会議で非常災害時などには協力が得られるよう働きかけをし、避難訓練などに参加して頂くことが望ましい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養のバランスについては、隣接のケアハウスのメニューを参考にし、ホーム用に変更したり普通食・刻み食にするなどしている。摂取量などは一人ひとりの状態により把握し記録している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは食事など多目的用のテーブル以外に畳を敷き炬燵が用意されており、暖かさが感じられた。また、季節感がかもし出す節句の人形や、習字など皆さんの日々の作品が飾られており居心地の良さが感じられた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた筆筒やテーブル・お仏壇など自由に持ち込み、入り口には個々に気に入った暖簾が掛けられ、お部屋の目印にもなり居心地よく過ごせる工夫がうかがえた。また、入居ではなくショートステイと思っているため、少量の荷物以外持ち込めない方など本人の状態により家族と相談しながら、不隠にならないよう支援している。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。